

第23回化学物質と環境円卓会議

「環境省における身近な化学物質に関する
リスクコミュニケーションの推進」
～ かんたん化学物質ガイドを例に～

環境省環境保健部環境安全課
課長 木村博承



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

2009年3月31日第23回化学物質と環境円卓会議

発表の内容

- 1 はじめに
- 2 身近な化学物質対策の例
「かんたん化学物質ガイド」
 - ・わたしたちの生活と化学物質
 - ・乗り物と化学物質
 - ・洗剤と化学物質
 - ・殺虫剤と化学物質
 - ・塗料・接着剤と化学物質
- 3 今後の取組について



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

身の回りの化学物質の例



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

身の回りの物は化学物質から作られているにも関わらず、化学物質のリスク等について考える機会は少ない。

化学物質を安全に使い、その便益を受けるには、化学物質についての知識・関心を持つことが重要。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

「我が国の化学物質対策のこれから - これまでの取組と最近の国際動向を踏まえて - 」環境省 抜粋(一部変更)

暴露 有毒性		労働環境		消費者					環境経由				排出・ストック汚染			廃棄
		毒	劇	法	食品衛生法	薬事法	有害家庭用品規制法	建築基準法	毒	劇	法	毒	劇	法	毒	劇
人の健康に対する毒性	急性毒性	労働安全衛生法	農薬取締法	農薬取締法	食品衛生法	薬事法	有害家庭用品規制法	建築基準法	化学物質排出把握管理促進法				大気汚染防止法	水質汚濁防止法	土壌汚染対策法	廃棄物処理法等
	長期毒性								農薬取締法	化学物質審査規制法	農薬取締法	化学物質審査規制法				
生活環境(動植物を含む)への影響																
オゾン層破壊性									オゾン層保護法				1			

1 フロン回収破壊法等に基づき、特定の製品中に含まれるフロン類の回収等に係る措置が講じられている。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

環境汚染に対する国民の関心、不安

近年、様々な化学物質が大量に使用され、環境中に排出されている



化学物質の環境リスクが高まるとともに、化学物質による環境汚染問題に対する国民の関心や不安が増加



化学物質のリスクコミュニケーションの推進



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

化学物質のリスクコミュニケーションとは

環境リスクなどの化学物質に関する正確な情報を市民、産業、行政等のすべての者が共有しつつ、意見交換などを通じて意思疎通と相互理解を図ること。

化学物質による環境リスクを減らす取組を進めるための基礎となるもの。

国民の化学物質に対する不安の解消に向けて、化学物質に関する正確な情報を市民・産業・行政等のすべての者が共有しつつ、相互に意志疎通を図る必要。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

第3次環境基本計画(平成18年4月閣議決定)

第二部 第1章 第5節 化学物質の環境リスクの低減に向けた取組

重点的取組事項 (4) リスクコミュニケーションの推進(抜粋)

化学物質の有害性や製造、使用、排出等の情報が、秘密情報の保護に配慮しながら最大限入手可能なものとなり、第三者による情報の評価や双方向のリスクコミュニケーションが行われるよう支援します。

このために、情報提供のための指針の作成、データベースの構築、人材の育成、リスクコミュニケーションの場の提供、国民が知りたい疑問に適切に対応するための必要な研究者を含むネットワークの構築等の取組を進めます。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

環境省では、化学物質のリスクコミュニケーションの推進のため、

- ・情報の整備(かんたん化学物質ガイドの作成、化学物質ファクトシートの作成)
- ・対話の推進(かんたん化学物質ガイドE-ラーニングの作成、化学物質アドバイザーの派遣・育成)
- ・場の提供(環境円卓会議の開催)
- ・化学物質の排出量について、PRTRシステムを通じた公表

等について取り組んでいる。

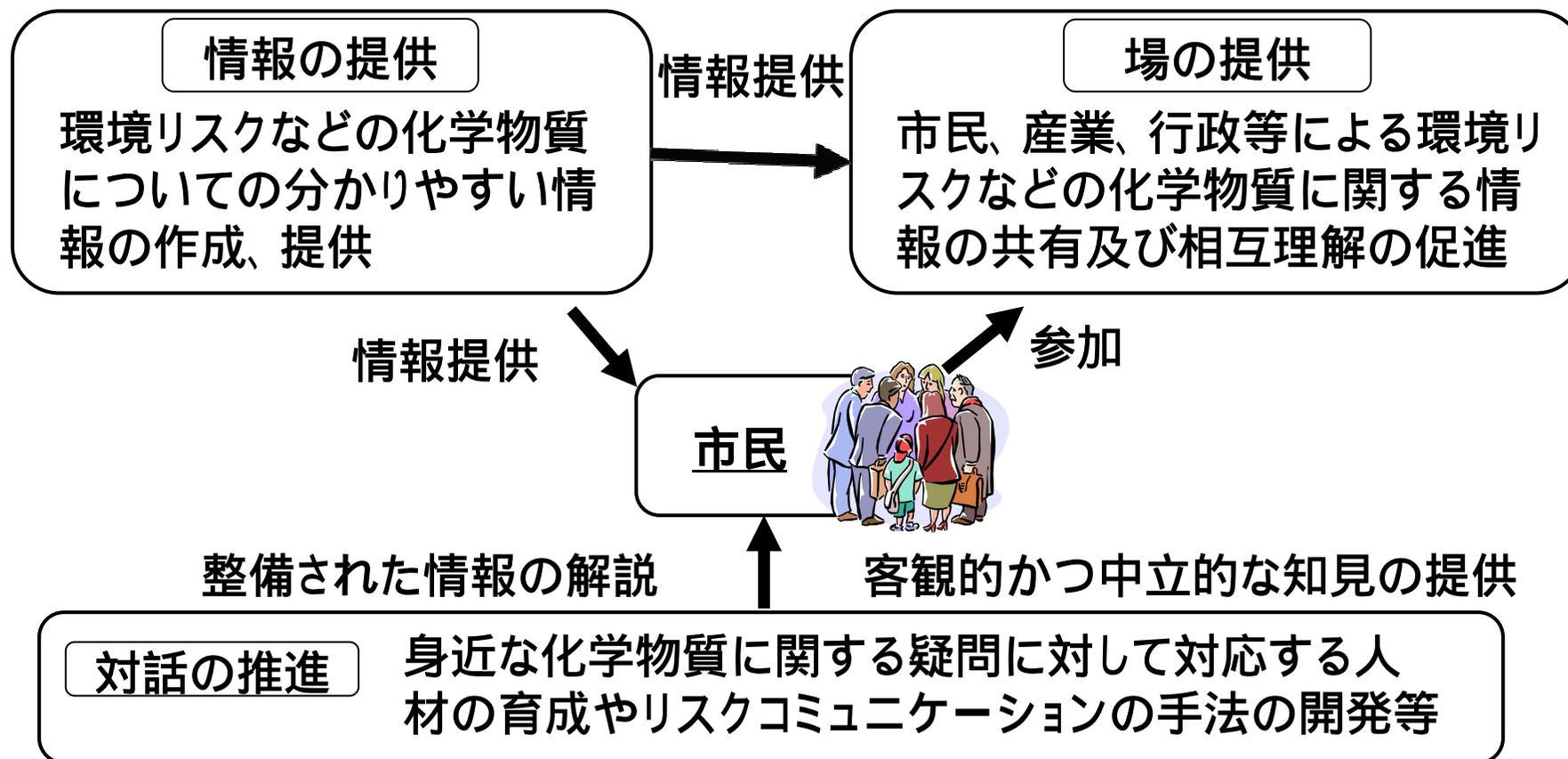


みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

環境省のリスクコミュニケーションの取組（全体像）



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

情報の整備（１）かんたん化学物質ガイドの作成

- ・ 家庭や自動車等の身近なところから排出される化学物質についての分かりやすい解説
- ・ 化学物質の正しい利用や廃棄など、市民一人一人ができる環境リスクの低減のための取組の紹介
- ・ 子どもにも親しみやすい構成



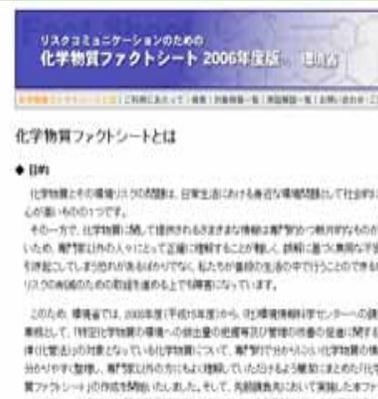
みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

情報の整備 (2) 化学物質ファクトシートの作成

- ・「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)」指定物質を中心に選定
- ・専門的で分かりにくい情報(用途、健康・環境影響、環境データ等)を分かりやすく整理し、簡潔にまとめたもの
- ・冊子及びインターネットで提供



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

対話の推進 (1) 化学物質アドバイザーの派遣・育成

- ・中立的な立場で化学物質に関する客観的な情報提供やアドバイスを行う人材の派遣・育成(現在、45名登録)
- ・リスクコミュニケーションにおけるインタープリター
- ・派遣例 事業者と工場周辺住民との意見交換
市民の勉強会 等



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

対話の推進(2) かんたん化学物質ガイド

E-ラーニング版の作成

- ・「かんたん化学物質ガイド」の内容を音声・動画付きでパソコン上で学べるようにしたもの
- ・会話形式のコンテンツに、ゲームやアニメーション等を織り交ぜながら、15分程度で学習可能
- ・クイズに挑戦し、学習効果をチェック



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

1 はじめに

場の提供 化学物質と環境円卓会議

- ・国民的参加による取組を促進が目的
- ・市民、産業、行政の代表による化学物質の環境リスクに関する情報の共有及び相互理解を促進する場
- ・市民(7名)、産業(7名)、行政(5名)、学識経験者(3名)から構成
- ・これまで22回開催(地方開催含む)



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

2009年3月31日第23回化学物質と環境円卓会議

2 身近な化学物質対策の例

かんたん化学物質ガイドの配布実績(平成20年度)
(部)

わたしたちの生活と化学物質	4,227
乗り物と化学物質	3,160
洗剤と化学物質	2,377
殺虫剤と化学物質	3,066
塗料・接着剤と化学物質	2,218

かんたん化学物質ガイドの内容についてはHPからのダウンロードも可能であり、合計での利用実績は表の数値以上。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

2 身近な化学物質対策の例

かんたん化学物質ガイド～わたしたちの生活と化学物質～

- 1 化学物質ってなに？
- 2 どんな性質があるの？
- 3 ヒトや動植物にどんな影響があるの？
- 4 上手につきあうにはどうしたらいいの？



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

2 身近な化学物質対策の例

かんたん化学物質ガイド～乗り物と化学物質～

- 1 乗り物は化学物質で作られているって、ホント？
- 2 乗り物を動かす時には、どんな化学物質が使われているの？環境に出てしまうものもあるの？
- 3 乗り物を上手に利用するにはどうしたらいいの？
- 4 使わなくなった乗り物を処分するとき、どんな化学物質が環境に出てくるの？



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

2 身近な化学物質対策の例

かんたん化学物質ガイド～洗剤と化学物質～

- 1 洗剤を使うと、どうして汚れが落ちるの？
- 2 洗剤が環境へ流れても、心配ないの？
- 3 洗剤は、健康に悪い影響はないの？
- 4 洗剤を上手に使うには、どうすればいいの？



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

2 身近な化学物質対策の例

かんたん化学物質ガイド～殺虫剤と化学物質～

- 1 殺虫剤って、どんなもの？
- 2 使われた殺虫剤は、環境中ではどうなるの？
- 3 殺虫剤は、人や動植物に影響はないの？
- 4 殺虫剤を上手に使うには、どうすればいいの？



みんなて止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

2009年3月31日第23回化学物質と環境円卓会議

2 身近な化学物質対策の例

- ・かんたん化学物質ガイドは企業や消費者等の勉強会において資料として活用されている。
- ・配布部数の多さは、「日常生活ではあまり馴染みがなく、関心を持ちにくい化学物質」について、分かりやすく解説したことに起因すると推察される。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

3 まとめ

- ・ 化学物質によるリスクを低減するには、化学物質に関する知識の普及、関心の喚起が重要。
- ・ 環境省では身近な化学物質対策の一環として「かんたん化学物質ガイド」を作成・交付や円卓会議の開催等を通して、知識の普及、関心の喚起について取り組んでいる。
- ・ 今後とも身近な化学物質について、分かりやすい「情報の整備」や「場の提供」及び「対話の推進」等を通じて、身近な化学物質に関するリスクコミュニケーションを推進することが重要である。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

御清聴ありがとうございました

御意見・御感想等については、
ehs@env.go.jp
までお願いいたします。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%